



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 大谷 恩
幹事 松岡 多加倫
公認イメージ委員 渡邊 源市

No. 13 **ロータリーは機会の扉を開く**
Rotary Opens Opportunities

2020～2021年度

RI会長
ホルガー・クナーク

今日の例会

第1792回 2020年(令和2年)11月17日(火)

卓話:『ロータリー財団プログラムについて』
～財団は、ロータリー会員の財産です～
地区補助金委員会 委員 足立 満 様

先回の例会

第1791回 2020年(令和2年)11月10日(火)晴

卓話:「犬と共に元気になる
～日本介助犬協会の活動について～」
社会福祉法人 日本介助犬協会
専務理事 高柳 友子 様

◆君が代

◆我らの生業

◆ゲスト紹介

社会福祉法人 日本介助犬協会

専務理事 高柳 友子 様

管理部 副主任 広報グループ 磯貝 歩美 様

PR犬 ラルフ

◆出席報告

正会員 35(28)名 出席 24名

出席率 85.71%

松岡幹事報告

- 1) 本日の配布案内: ①ロータリー財団寄付のお願い・財団リーフレット ②地区補助金事業のご案内 ③年末家族会抽選会賞品寄付のお願い ④年次総会案内 ⑤米山寄付(再案内)クラブ目標まであと少しですのでよろしくお願ひします ⑥地区大会のご案内
- 2) 11月のロータリーレート 1ドル=104円
- 3) ロータリーの友11月号が届いておりますので、お帰りにお持ちください。
- 4) 10月の理事会承認報告

◆朝倉親睦委員長より

秋季家族会の御礼と年末会員家族懇親会のご案内

◆谷口国際奉仕・財団委員長より 地区内委員長会議の報告およびロータリー財団寄付のお願い

大谷会長挨拶



私は、毎日自転車で通勤していますが、時々公共交通機関を使って通勤することがあります。その地下鉄の中で、ほとんどの人がスマートフォンを手にしていますが、私は本を読むことにしています。最近、東野圭吾の「マスカレード・ナイト」という本が文庫化されたので、早速購入して読みました。この本はシリーズ化されており、「マスカレード・ホテル」「マスカレード・イブ」に続く第三作目になります。一流ホテルである「ホテルコルテシア東京」を舞台の中心に、捜査一課の若手刑事新田浩介と女性フロントクラーク山岸尚美の活躍を描いたシリーズ。この二人が信頼関係を築き上げ、協力しながら事件を解決していく話です。

ところで、皆さんは夢を見ることはよくありますか？私は目を覚ました時に、時々「今夢を見ていたな」と思うことがあります。思い出せない夢がほとんどですが、思い出することができる夢もあります。例えば、高校・大学時代のハンドボールをしていた夢、寮生活の夢、出席日数の足りなくなった夢など現実的な夢、また、怪物に追いかけて戦いながら逃げる夢、助走をつけてジャンプすると空を飛べる夢など非現実的な夢も見たりします。

先ほどお話しした「マスカレード・ナイト」という本の話に戻しますが、本の中の新田浩介と山岸尚美の会話の中に、私が時々見る空を飛び夢の話が出てきたのでご紹介いたします。

山岸尚美がアメリカロサンゼルス転勤を打診されて思っている場面での会話

山岸「新田さん、ジャンプする夢って最近見ました？」
新田「ジャンプ？」山岸「子供の頃によく見ませんでした？びよんとジャンプしたら、ものすごく高くまで跳び上がって、なかなか落ちないんです。手足をばたばたさせたら、そのまま鳥みたいに飛べたりする。そういう夢」
新田「そういう夢、よく見ましたね。でも最近は見えない」
山岸「私もです。大人になってから、すっかり見なくなりました。でもそれって、いいことなんですか。あの夢は、もっと高いところへ行きたい、という気持ちが反映されていたような気がするんです。現状に甘んじているから、もう見なくなった、考えすぎでしょうか？」

という会話が本の中に出てきました。皆さんも自分自身を振り返ってみてください。私たちは、何歳になっても現状に満足しないで常に向上心を持って日々を過ごさなければならないと思います。「病は気から」という

言葉があるように、このような気持ちを持つことが健康維持につながるのではないのでしょうか。

卓 話

「犬と共に元気になる

～ 日本介助犬協会の活動について ～



社会福祉法人 日本介助犬協会
専務理事 高柳 友子 様

私たち社会福祉法人日本介助犬協会は、愛知県長久手市にある、全国で唯一の介助犬専門訓練施設「介助犬総合訓練センター～シンシアの丘～（以下、

シンシアの丘）」と神奈川県横浜市（本部）の2拠点にて、人にも動物にもやさしく楽しい社会をめざして介助犬の育成・普及啓発活動を行っております。2004年の団体設立以降、これまで53組の介助犬ペアを送り出して来ており、全国に25以上ある介助犬育成団体の中では随一の実績といえます。2009年に開所をしたシンシアの丘は、介助犬ペアを目指す肢体不自由の方が宿泊しながら訓練が行える専門の施設としては全国唯一を誇り、訓練センターには全国から介助犬希望者・使用者のみならず、介助犬について知るために見学で延べ約54,000人もの方が訪れている、活気あふれる施設です。私たちの事業は「介助犬育成＝犬の育成」にはとどまらず、介助犬を通して障がい者がリハビリテーションとして新たな人生を歩む支援を行っております。当会理事長・専務理事はリハビリテーション科の医師であり、役員にはリハビリテーション・福祉専門職が多く就いています。職員には社会福祉士・介護福祉士も多く、理学療法士・作業療法士も嘱託として深く連携をとりながら、決して「犬の訓練」ととどまらず、広くリハビリテーションとしての介助犬育成を行っている団体です。

私たちが育成を行っている介助犬とは、手や足に障がいのある方の手助けをするために特別な訓練を積んだ犬のことをいいます。盲導犬が目の不自由な方の目となって障害物や曲がり角の存在を知らせるように、介助犬は肢体不自由者の手足となり、日常生活における動作の補助をします。介助犬は介助作業を行うという機能的な役割のほかにも、使用者の精神的な支えにもなります。介助犬と暮らすことによって、一人で外出することの不安が軽減された、家族が安心して外出できるようになった、近所の人との会話が増えた、などの2次の効果もあり、介助犬を通して社会との繋がりがより深くなるのが期待できます。介助犬はペットとは異なり、使用者である肢体不自由者と共にお店や公共交通機関等の公共の場所を利用できることが、「身体障害者補助犬法」という法律の元、定められています。

現在、日本では57組（令和2年11月現在）の介助犬が活躍しています。しかし、介助犬がいれば生活が変わるといわれている潜在的な介助犬希望者は全国で約

15,000 人いるといわれており、まだまだ数が足りない現状があります。

介助犬と使用者のペア1組の育成には、1頭あたり250万円から300万円程度の費用が必要であり、介助犬として認定された際の補助金（一部自治体のみ）以外のほとんどが、一般の方や法人・団体からのご寄付でまかなわれています。また、介助犬ではなく、別の道へ進む犬たちに対しては公的な補助が一切ありません。しかしながら、介助犬にならなかった犬たちは、医療現場で動物介在療法や動物介在活動などを通じて病気を抱える方のリハビリテーションや心の支えとなる他、PR犬として介助犬の普及・啓発活動を職員と共に行う、障がい児者のいるご家庭で精神的なサポートを行う等、それぞれの個性を活かして活躍しています。

日本介助犬協会の運営は、皆さまからのご寄付で成り立っております。これからも犬と共にあらゆる障害や課題を抱える人に笑顔と生きる力を提供してまいります。私たちの活動に是非ご支援ご協力をよろしくお願い致します。



第4回 理事役員会 議事録

10月13日

【承認報告事項】

- 25RC ロータークラブ社会奉仕委員会について
今後の会の方向性について、各クラブから意見を持ち寄り11月17日の臨時25RC社会奉仕委員長会議にて採決。以下A案B案に対して表決／ A案:ガバナンス上の諸問題を鑑み25RCの枠組みを終息し、余剰金については桜の回廊プロジェクトに寄付する B案:ガバナンス上の問題点を明確にして規約を整備し25RCの枠組みを継続する
当クラブからは、B案+「いったん枠組みを休止し、早急に運営ルール改定を含めた本会原則に構築に集中する」意見を提出
会員の同意を得25RC社会奉仕委員会へ提出いたします。
- 親睦委員会 年末家族会について
日時: 12月15日(火)18:00/今年度はコロナ禍での開催ということで、大人だけの開催にいたします。(中学生以上の参加)
会場を、4F「雅の間」から3F「ヴェルサイユの間」に変更。
内容: アトラクション 抽選会 会費: 例年通り
- 谷口優君より出席免除 定款第10条第5節(b)規定適用願
小林英毅君より休会願(上半期12月まで)が提出されました
- 補助金事業「花いっぱいプロジェクト」について
例会変更で11月7日(土)に予定しておりました東山植物園での苗植え付け作業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため東山植物園より中止との決定。休園日に植物園スタッフと足立造園土木様に苗の植付を依頼。11月17日(火)の例会後、畑作業予定。RAC・IACとの共同作業についても日程調整中。
- 秋季家族会報告/ 10月24日(土)18:00 料亭か茂免
参加: 会員26名+ご家族10名+米山奨学生
- 諮問会決定報告
2022～2023年度東名古屋区分ガバナー補佐推薦について、諮問会全会一致で池森由幸氏を推薦することを承認、ご本人より快諾いただきました。

*ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会: 2020年(令和2年)11月24日(火) 12:30 名古屋東急ホテル4F 雅の間
友愛の日